

神奈川ウォーキング参加 H26-17



日時 : 平成27年4月15日 (水)  
 集合 : 京急大師線川崎大師駅 10:00  
 コース : 川崎大師駅→川崎大師平間寺→大師公園・瀋秀園→千鳥運河→千鳥公園→謎の海底トンネル  
 東扇島→川崎マリエン→バスで川崎駅 14,000歩 約9km (伊藤自宅含め20,000歩)  
 参加者 : 小島重L・青松SL【班長】1班常盤・2班熊島・3班落合・4班志村  
 ・勅使河原・平嶋・神谷・吉留・平林・鈴木徳・仲・大平・奴田・伊藤真・菊池・佐藤繁・藤原  
 ・深瀬・小林俊・森川・井内・宮野・福土・落合・中嶋・市村・鈴木美・清水靖・平林勝・山本  
 ・小林久・塩川・橋本・前 (TWC)・片岡 (一般) 合計37名 (会員は入会背番号順)  
 天候 : 晴れ一時曇り小雨パラツキあるも午後晴れ

4月度初めての参加は平日例会で近くの京急大師駅集合。川崎大師は十数回行っているが、海底トンネルは初体験。まさしくミステリースポット探検学習に誘われて参加しました。川崎マリエン展望台とシアター小学生に戻り楽しく学習させて戴きました。小島L自らのレポートで、楽しく歩いた姿を振り返られ、小生は見えないと

ころの奥を探りたくて、小学生になり纏めました。参考までに斜め読み下さい。

【川崎大師駅】

小島Lと青松SLのお迎え、天候荒れ予報が気になります。まだ青空ですが・・・



【川崎大師平間寺】本尊：厄除弘法大師 真言宗智山派 金剛山金乗院<sup>へいげんじ</sup> 宗祖：弘法大師空海（774～835）中興の祖：覺鑾（1095～1143）

小島L出来るだけ早く昼食会場「ちどり公園」に行きたいので参拝見学を省略する。

代わりに川崎大師の建物が素晴らしく、多数の参拝者のお参りがあるのか、孫の七五三で参拝時戴いた冊子から「厄除弘法大師略縁起」を紹介いたしますので参考にして下さい。途中の「夜光町」の由来もあります。

平安時代平間兼豊・兼乗という武士の親子が無実の罪により、生国尾張を追われ、諸国を流浪後この川崎の地に住み着き、漁師として貧しい暮らしをしていた。兼乗は深く仏法に帰依し、特に弘法大使を崇信していた。ある夜一人の高僧が兼乗の夢枕に立ち「我昔唐に在りし頃、我が像を刻み、海上に放ちしことあり。以来未だ有縁の人を得ず。いま、汝速やかに網し、これを供養し、功德を諸人に及ぼさば、汝が災厄変じて福德となり所願も又満足すべし」と告げられました。兼乗は翌朝直ちに海に出て、光り輝いている場所に網を投じますと一鉢の木像が引き上げられた。それは大師の尊いお像でした。この地は「夜光町」と名付けられ、大師の浜の古い歴史を今に伝えている。兼乗は隋喜してこの像を浄め、ささやかな草庵をむすんで、朝夕に光華を捧げ、供養を怠りませんでした。

その頃、高野山の尊賢上人が諸国遊化の途中に兼乗のもとに立ち寄られ、尊いお像と、これにまつわる霊験奇端に感泣し、兼乗と力を合わせ、1128年一寺を建立した。そして、兼乗の姓・平間をもって、「平間寺」と号し、御本尊を厄除弘法大使と称し奉りました。これが今日の大本山川崎大師平間寺の由来であります。

兼乗は、この信仰のお陰で、青天白日の身となり晴れてふたたび尾張の国に帰任した。平間寺の開基である尊賢上人は、1136年弘法大師を篤く信仰されていた鳥羽上皇の<sup>ささき</sup>后・美福門院に平間寺開山の縁起を申し上げ、災厄消除と皇子降誕の祈禱を修行されました。その霊験たちまちに現れ、間もなく皇子（のちの第76代・近衛天皇）がお生まれになった。これ、全く厄除弘法大師の御霊徳と美福門院もことのほかお喜びになりました。このことを上皇にご奉告申し上げ、1141年近衛天皇の名によって、平間寺に、勅願寺の宣旨が下された。

以来、皇室のご尊信も深く、以降、徳川將軍家の帰依も篤く厄除弘法大師のご霊徳は、いよいよ天下にあまねく関東厄除・第一霊場として善男善女の参詣、相ついで跡をたたず、現在に至っております。



⑥八角五重塔と祈り平和の像 小島Lのコース説明

④大山門



①本大堂



この青空が正午ごろ急変する予報で、先を急ぎます。P2



「つるの池」の鶴、飛び立ちません。皆さんも釘づけです

大師公園の黄緑の新芽葉が綺麗です



【瀋秀園】中国瀋陽市と川崎市の友好都市提携5周年を記念して瀋陽市から寄贈された。1987年開園  
垂花門 太湖石（蘇州の太湖の湖底から運ばれた） 秀湖と楼閣



滝を背景に小島L&TWC・Mさんモデル



Mカメラマンで伊藤も撮って戴きました



楼閣



10:30~10:40 急ぎ廻り見学。

国道132号を塩浜、四谷下町、夜光町を通り、途中工場パイプラインの下歩道を歩く



「夜光町」の由来看板もありましたが、川崎大師平間寺由来で記した通りです

【ちどり公園】 昼食 11:45 ~ 12:20 9,000歩 運河に囲まれた島「ちどり町」です



海底トンネル入り口の公園に向かいます。対岸がトンネル出口の東扇島です ちどり公園に到着しました



空は青く晴れです。丘のテーブル付きのベンチに座り、海底トンネル出口の風景を見ながらの昼食です。小島L良かったですね！（トンネルを抜けると小雨ぱらつき始めました、急ぎ足好判断！）



捨て猫対策  
大変な様です



**【海底トンネルの学習】** 1972年着工、1979年開通。京浜運河は船の出入り頻繁で、すぐそばは羽田空港の為に、橋でなく工費の安い沈埋トンネルに。もともと避難道路として造られ、1992年川崎マリエン開業に併せ一般車両通行可、2004年歩行者の通行許可。2008年一部冠水したが、排水溝からの漏水で微少の穴、薬剤注入で止水。全長2,180m、地上部はオープンカットや山留工法、海底部840mが沈埋工法。歩行者用は入口階段を含め1,965mで、上下車用道路の真中。総工費440億円。通行人平均約100人/日。

沈埋トンネル(ちまいたんねる)は、あらかじめ海底に溝を掘っておき、そこにケーソン(沈埋函)を沈めて土をかぶせる、沈埋工法で作られたトンネル。海底にトンネルを作る際に開削トンネルトンネルよりも浅く、短距離にトンネルを作ることができる。

目次 [非表示]

- 1 工法
- 2 おもな沈埋トンネル
- 3 関連項目
- 4 外部リンク



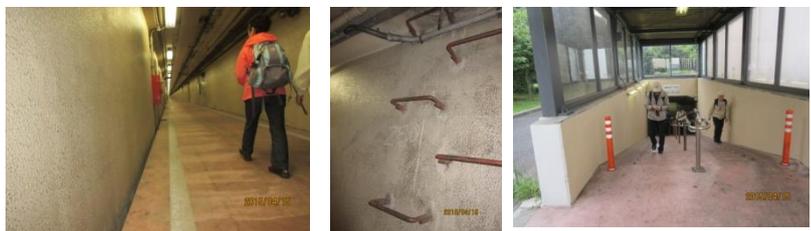
工法 [編集]

1. ケーソン製作 ケーソンを地上で構築する。
2. 基礎工事 ケーソンを設置する部分に平らな穴を掘っておく(海中)。
3. 曳航 両端をバルクヘッドという蓋で閉塞して浮上後、船で目的の位置まで牽引する。
4. 埋設・埋め戻し アンカーワイヤーで位置を調整しながら、所定の位置に設置する。
5. 内部構築 内部の仕切り壁などを構築する。
6. 完成 側部と上部を埋戻して完成。

入口は小さい看板が目立ちません。「自転車は降りてください」海底に向かう階段です。階段終了。



緩やかな斜面の後海底水平部が沈埋部840mか？



カメラの時刻で  
入口 12:21 →  
出口 12:36、  
15分で歩く。145m/分流石KWC!  
殆ど歩行者なくKWC貸切状態でした。

東扇島からちどり公園を見る。川崎漁業ゆかりの碑（伊藤市長さん）羽田空港・浮島・東扇島と首都高湾岸線



【川崎マリエン】川崎市港湾振興会館 10F展望台（51m）2009年入場料無料 真下のテニスコート

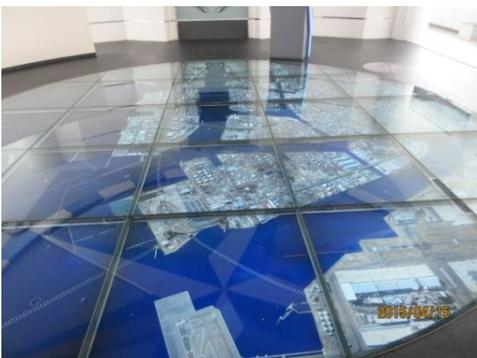


1Fシアタービデオ学習し、エレベーターで10F展望台へ川崎工業地帯が一望できる



参考までにHP資料の富士山を背景にした夜景を引用させて戴きました。  
9Fにはレストランがあります。  
デート?にどうぞ!

中央フロアーにジオラマがあり、航空写真が床に有り、小生も3女の会社を確認。まさしく空から散歩!



2F「友好ベトナム・ダナン港」現役時代2週間滞在、思い出す衣装他。



14:42マリエン前からバスに乗る、このバス東扇島をぐるり廻り、海底トンネルを通り、先程歩いた132号道路を川崎駅へ40分かかり、16:20到着。小島Lの締めと解散。雨に降られず、感謝感謝!

【夜光・ちどり公園・川崎マリエン】の復習



希望者17名で青松SLが予約の「天狗」でアフター。川崎駅を改めて認識するため、2次会は橋グループとAさん行きつけお店で軽く。



編集後記：川崎工業地帯、車では首都高湾岸道から眺めて通るが、歩くのは初めてでした。今日川崎マリエン展望台から見ると、戦後高度成長期公害で悩まされた面影は想像されるが、今の若者達は公害のない現在の京浜港のこの光景を見て、日本が世界と共に生きている姿を見てほしいと思いました。小島L魚釣りにも来られる程海もきれいで、小学生もさることながら、爺達にも良き企画をして頂き有難うございました。天候不順の中での案内も含め気遣い深く感謝致します。

いつものポケ防止用の日記帳「メモと写真」です。失礼な記述や誤記があるかも知れませんが悪しからずお許しの程。説明文はHPから引用しました。